



博物館の窓

第96回

学芸員 持田 誠

6月最後の日曜日、久々に、東十勝ロングトレイル協議会のフットパスコース「海のルート」を歩く行事が開催されました。昆布刈石の「厚内トンネル」下から、十勝太の「ソコベの水」までの約5.3kmの砂浜を、ゆっくりと歩き通しました。

松浦武四郎や依田勉三の歩いた海岸線

この崖下の道は、1799(寛政11)年に、幕府が開設した、苫小牧方面から根室へ抜ける街道でした。幕末には松浦武四郎、明治期には晩成社を旗揚げする依田勉三が、ここを歩きました。

東十勝ロングトレイル協議会

東十勝ロングトレイル協議会は、浦幌町、豊頃町そして各町の観光協会と商工会、建設業協会などで構成する、浦幌と豊頃の観光コースを開設する協議体です。ぜひ観光事業へご参加ください。お問い合わせは、浦幌町役場産業課(浦幌町観光協会)へ。



昆布刈石展望台の直下、海岸線の砂浜を歩く参加者たち。裸足になって川を渡り、「黄金の滝」を下から眺める。
この先、十勝太の湧き水「ソコベの水」までを歩いたのち、豊北原生花園や大津の史跡を巡った。

東十勝ロングトレイル「海のルート」を歩く